

スポーツ産業国際展開カントリーレポート

スポーツ産業の市場環境等に関する基本情報



ベトナム社会主義共和国

Socialist Republic of Viet Nam



都市名	人口（万人）
ホーチミン市	923
ハノイ市	825
カントー市	124
ダナン市	117

出所) ベトナム統計総局「STATISTICAL YEARBOOK OF 2020」よりNRI作成

目次

スポーツ関連

【市場情報】

- スポーツ産業市場規模推移 2
- 主要コンテンツ市場情報 3
- スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上 4

【スポーツ習慣】

- 現地で盛んな競技 5
- 一人当たりスポーツ支出 6
- 主なスポーツリーグ・スタジアム 7

【業界情報】

- 日本のプロリーグとの連携 8
- 日本のクラブチームとの連携クラブ概要 9
- 現地主要企業 10
- 教育分野におけるスポーツの活用動向 11
- スポーツ産業に係る日本企業の進出状況 12

【展示会、国際競技大会等開催情報】

- 商談会・展示会開催情報 13
- 国際競技大会開催情報 14

【政策動向】

- スポーツ基本計画概要 15
- SDGsへのコミットメント、SDGs×スポーツの取組 16

一般概況

【経済】

- 人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成 19
- GDP、GDP成長率、一人当たりGDP 20
- 世帯所得分布 21
- 賃金 22
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響 23

【健康・医療】

- 医療費支出 24
- 疾病構造・死亡要因 25

【規制】

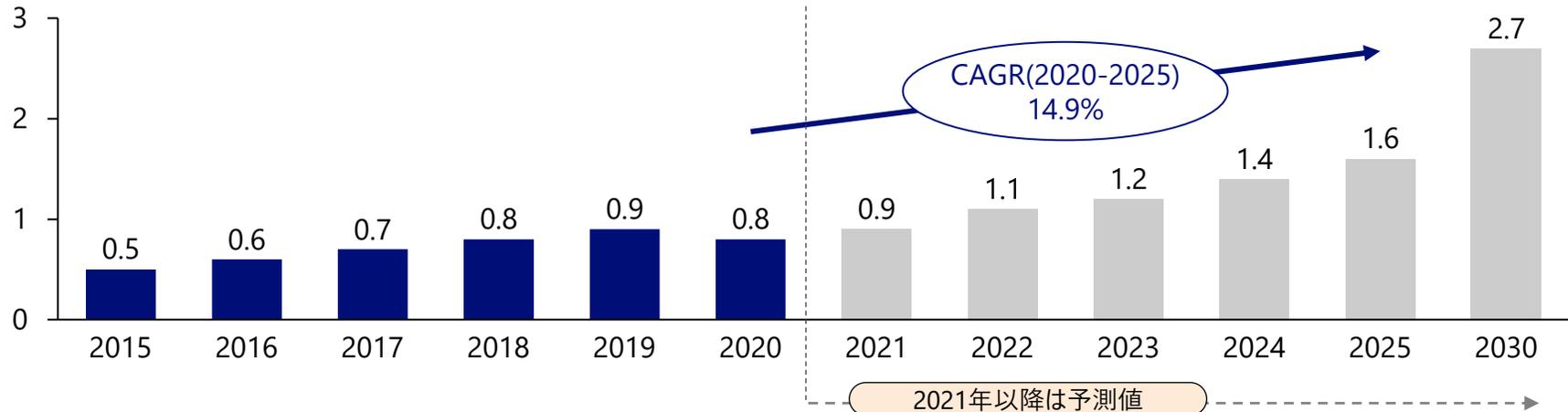
- 外資に関する規制 26

スポーツ産業市場規模推移

- 2020年のベトナムにおけるスポーツ産業市場規模は、約8億ドル（約910億円）でCAGR（2020-2025）は14.9%。スポーツ産業の市場規模は、国全体のGDPの0.281%である。
- ベトナムでは、健康意識の高まりに加え、スポーツウエアをファッションに取り込んだ「アスレジャー」やフィットネスジムが流行しており、市場拡大を後押ししている。

スポーツ産業市場規模推移

(10億ドル)

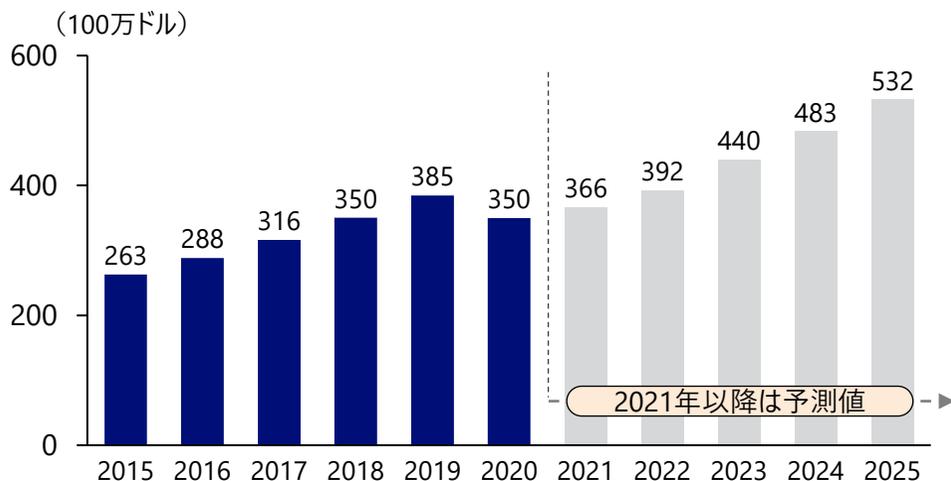


主要コンテンツ市場情報 (スポーツウェア、フィットネス市場)

👕 スポーツウェア市場

- ベトナムのスポーツウェア市場は、その快適性とストリートファッションへの登用により成長してきた。
- しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年は市場が落ち込み、3.5億ドルとなった。
- 一方で、2021年以降は11%のCAGRで成長すると予測されており、これは他のアパレル分野よりも回復が早い。
- アディダスのベトナム法人が市場の19%を占めており、最大シェアとなっている。

スポーツウェア市場規模推移



(出所) Euromonitor International PassportよりNRI作成

🏃 フィットネス市場

- ベトナムは、ASEAN6か国の中では、最もフィットネス施設の利用率が低い。
- しかし、ベトナムでは、肥満率が高かつ上昇傾向にあるため、フィットネス施設への関心は高まっている。
- ルネサンスは、ビンズオンキャナリーとロンビエンの2都市でイオンモール内にフィットネスクラブとスイミングスクールを運営しており、多くの集客を集めている。

ASEAN-6各国におけるフィットネス施設の利用状況

国名	利用者数(人)	利用率(%)
シンガポール	1,099,542	19.5
マレーシア	693,629	2.2
タイ	624,857	0.9
インドネシア	1,873,644	0.7
フィリピン	746,563	0.7
ベトナム	573,242	0.6

(出所) GWI; "Move to be Well: The Global Economy of Physical Activity - October 2019"

スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上

- ベトナムにおけるスポーツ産業の従業者数割合は0.05%。
- スポーツ産業の事業者数は他国と比較して少ないものの、一事業者の売上は比較的大きい。

スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上

国	スポーツ産業 従業者数割合 (%)	スポーツ産業事業者数	1事業者当たりの売上 (ドル)
サウジアラビア	0.30%	25,467	122,437
イギリス	0.26%	72,371	231,733
アメリカ	0.22%	43,441	2,823,163
シンガポール	0.16%	996	1,851,950
韓国	0.13%	24,357	272,094
フランス	0.13%	34,663	276,974
フィリピン	0.12%	7,802	196,463
日本	0.10%	20,164	1,254,952
インドネシア	0.09%	86,631	37,777
中国	0.08%	160,508	342,474
タイ	0.08%	14,659	145,558
ベトナム	0.05%	1,821	450,457
インド	0.05%	173,683	16,521
オーストラリア	0.03%	3,036	1,946,384

※...「一人当たりスポーツ支出」は2020年の値。「スポーツ産業従業者数割合」は全人口に対するスポーツ産業従業者数の割合

(出所) Sports Global Market Opportunities And Strategies To 2030

現地で盛んな競技

- 国内の人気スポーツとしては、サッカー、バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン等が挙げられる。
- 特に観戦においては、サッカー、バレーボール、バスケットボールといった競技が人気である。
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、パラリンピックにてパワーリフティングで銀メダルを獲得した。

東京2020大会におけるベトナムの競技別メダル獲得数

オリンピック

競技	メダル総数	金	銀	銅
	メダルなし			

パラリンピック

競技	メダル総数	金	銀	銅
パワーリフティング	1	0	1	0

一人当たりスポーツ支出

- ベトナムにおける2020年の一人当たりスポーツ支出は8.4ドル。

一人当たりスポーツ支出 (国別)

国	一人当たり スポーツ支出 (ドル)
アメリカ	371.6
シンガポール	319.7
イギリス	249.4
オーストラリア	229.7
日本	201.2
フランス	147.7
韓国	128
サウジアラビア	89.7
中国	39.1
タイ	30.6
フィリピン	14.1
インドネシア	12.1
ベトナム	8.4
インド	2.1

※...「一人当たりスポーツ支出」は2020年の値。

(出所) Sports Global Market Opportunities And Strategies To 2030

主なスポーツリーグ・スタジアム

- ベトナムでは、2010年代ごろから、サッカー・フットサルのプロリーグが活動している。

ベトナムにおける主なスポーツリーグ

リーグ名称	競技	設立年	チーム数	開催時期	観客動員数*	主要チーム**	主要スポンサー***
Vietnam Futsal League	フットサル	2009	10	4月～3月	8,700人 (1試合当たり)	<ul style="list-style-type: none"> SAHAKO ZETBIT SAI GON FC THAI SON NAM 	<ul style="list-style-type: none"> HDBank, Dong Luc Group
Vリーグ 1	サッカー	2011	14	1月～12月	8,198人 (1試合当たり)	<ul style="list-style-type: none"> Hoàng Anh Gia Lai Viettel Than Quảng Ninh 	<ul style="list-style-type: none"> Bamboo Airways, King Coffee, PTI Insurance, LS Holdings
Vietnam Basketball Association (VBA)	バスケットボール	2016	7	10月～12月	不明	<ul style="list-style-type: none"> Saigon Heat Thang Long Warriors Hanoi Buffaloes 	<ul style="list-style-type: none"> Nova World Phan Thiet, Vifa Sport, McDonald's, Spalding

*直近のシーズンにおける観客動員数 **直近のシーズンにおける順位上位チームを記載 ***リーグの主要スポンサーを記載

主なスタジアム

スタジアム名	都市	収容人数	設立年
My Dinh Stadium	ハノイ	40,192	2003
Thong Nhat Stadium	ホーチミン	25,000	不明
Hang Day Stadium	ハノイ	22,500	不明
Go Dau Stadium	トゥ・ダウ・モット	18,250	不明

日本のプロリーグとの連携

Vリーグ（サッカー）

- Vリーグは、2012年にベトナムでプロリーグを運営するベトナムプロフェッショナルフットボール（VPF）と提携協定を結んでいる。Vリーグと海外プロリーグとの提携は、タイ・プレミアリーグに続いて2件目。リーグ運営のノウハウ提供や、両リーグで活躍する選手の相互移籍、ユース世代の育成支援などで協力する。
 - 2013年には、ベトナム代表のレ・コン・ビン（Lê Công Vinh）選手が、コンサドーレ札幌（当時J2）に加入した。当時は「東南アジア初Vリーグ選手」として大きな話題になり、大勢のベトナム人がスタジアムに観戦に訪れ、興行収入にも貢献した。
 - ベトナム・ホーチミン市にホームを置くVリーグ1部「サイゴンFC（Câu lạc bộ Bóng đá Sài Gòn）」のオーナーであるラン・ホア・ビン（Trần Hoà Bình）氏は、かつて23年間日本で勉強・就職しており、日本のVリーグクラブをモデルにサイゴンFCを構築している。よって、多くの日本人選手がサイゴンFCでプレーしており、J1のFC東京やJ2の琉球FCともチーム間提携をしている。チームスポンサーもSONY・ENEOS・JTB・JAL・ミットヨと日本企業が多数を占めている。

日本のクラブチームとの連携クラブ概要

日本のクラブとの協定締結等が確認されるクラブの主要スポンサー、オーナー

リーグ名 (競技)	クラブ名	主要スポンサー企業	オーナー	連携先日本リーグ・クラブ
Vリーグ (サッカー)	Saigon FC	JX Nippon Oil, Energy Vietnam, Catapult	Tran Hoa Binh	F C 東京、F C 琉球、アスルクラロ沼津
Vリーグ (サッカー)	Becamex Binh Dong FC	Kamito, Becamex, BIDV-Metlife, Vietcom Bank, TON DONG A., Vietin Bank, TON NAM KIM, VNPT	Ho Hong Thach	川崎フロンターレ
Vリーグ (サッカー)	Hoang Anh Gia Lai	Red Bull, Mizuno, Bolaven Banana	Doan Nguyen Duc *Hoang Anh Gia Lai 取締役会長	横浜 F C
Vリーグ (サッカー)	Dong Tam Long An	Dongtam, Kienlong Bank, Dong Thuan, Green City, Can Quoc Te	Vo Quoc Thang *Dong Tam Group 会長	北海道コンサドーレ札幌

現地主要企業（スポーツ用品とフィットネス業界）

- ベトナムには、スポーツ用品企業が数社程度存在し、いずれも非上場である。最大売上のPlus One Sportsは、主にアメリカに向けたバスケットボール関連商品の製造・輸出を行っている。
- フィットネス業界におけるベトナムの現地企業は、確認することはできなかった。

企業名称	カテゴリ	売上 (百万円、2019年度)	概要
PLUS ONE SPORTS COMPANY LIMITED	スポーツ用品	3,181	非上場
VISTARR SPORTS CO.,LTD	スポーツ用品	1,558	非上場
NTM ORIOLE SPORTS COMPANY LIMITED	スポーツ用品	N/A	非上場
Tan Binh Sports Service and Advertising Co., Ltd	スポーツ用品	N/A	非上場

教育分野におけるスポーツの活用動向

school sports activities

- 教育訓練省 (MoET) の体育部門は、ネスレ ベトナムと締結して2026年まで全国の学校スポーツ活動を支援している。
- この取組は、全国の学校での教育と医療活動を促進し、それによって若い世代の総合的な身体的および精神的発達を確保することを目的としている。
- これらの取り組みの一環として、ネスレ ベトナムとネスレ MILO ブランドは、全国の小中学校サッカー トーナメントを含むさまざまなスポーツ活動を後援している。

National School Health Programme

- ベトナム政府の首相は学生の健康の教育、ケア、保護、管理の促進に焦点を当てた 2021-25 年の全国学校保健プログラムに署名した。
- 本プログラムの目標は、幼稚園、特殊教育学校、および小学校と高校の生徒の総合的な身体的および精神的発達を確保することである。
- 本プログラムでは、80%の学校が保健省の規制に従って適切な医薬品と設備を備え、75% の学校が生徒の活動に十分な飲料水ときれいな水を提供するという目標を設定している。
- 学校での体育やスポーツ活動の目標も設定、プログラムによると、全学校の 80% には、文化・スポーツ・観光省の規定に従って、体育やスポーツ活動に必要な設備や道具を確保するためのエリアが少なくとも 1 つは確保されている。

スポーツ産業に係る日本企業の進出状況

- ベトナムには、比較的多くのスポーツ関連日本企業が進出している。
- ルネサンスは、イオンモールと連携し、ベトナム国内で複数のフィットネスクラブ・スイミングスクールを運営している。

現地法人名	日本側の主な出資企業	資本金（ドル）	出資比率(%)	従業員数	事業内容
Daiwa Vietnam Ltd.	グローブライド	4,500万	100	2,756	釣用リール，ロッドの製造
Nissey Vietnam Co.,Ltd.	日本精密	1,840万	100	1,504	眼鏡フレーム，時計バンド，釣具等の製造・販売
Renaissance Vietnam Inc.	ルネサンス	340万	100	不明	フィットネスクラブ及びスイミングスクールの運営
Fujikura Composites Haiphong, Inc.	藤倉コンポジット	294万	100	841	産業用資材，引布加工品及びゴルフ用カーボンシャフトの製造
Les Gants Vietnam Co.,Ltd.	レガン	85万	100	303	ゴルフ手袋，バットイング手袋の製造
Asics Sourcing(Vietnam)Co.,Ltd.	アシックス	不明	間接出資 もしくは不明	不明	スポーツ用品等の開発・生産管理
Qingdao Royne Garment(Vietnam)Co.,Ltd.	ロイネ、伊藤忠商事	不明	間接出資 もしくは不明	不明	インナー・アウター・スポーツウエアの製造

※資本金については、2021年11月16日18：10の為替レートより、円をアメリカドルに換算した値を表示

（出所）東洋経済新報社『海外進出企業総覧（国別編）』（2021年）よりNRI作成

商談会・展示会開催情報

- ベトナムでは、毎年下記の商談会・展示会が開催されている。

ベトナムで開催されるスポーツ関連の商談会・展示会

イベント名	開催地	主催者	開催頻度	主要コンテンツ
GARDEN & LANDSCAPE VIETNAM	ホーチミン	VINEXAD	毎年	ランドスケープデザインとグリーンスペースの展示会
VIETNAM SPORT SHOW	ホーチミン	VINEXAD	毎年	スポーツウェア、アクセサリ展示会
Rubber & Tyre Vietnam	ホーチミン	Veas Company / Minh Vi Exhibition & Advertisement Services Co., Ltd.	毎年	ラバー・タイヤエキスポ ゴム製品メーカーとサプライヤー、スポーツ用品メーカーなど
Shoes & Leather Hanoi	ハノイ	Top Repute Co. Ltd.	毎年	靴、革製品の展示会

国際競技大会開催情報

- ベトナムでは、直近で開催予定の国際競技大会はない。

スポーツ基本計画概要

- ベトナム政府は、2020年までのスポーツ基本計画を2010年に策定。ただし、2021年時点では本計画の次期計画は確認されていない。

計画名称	Strategy for development of physical training and sports in Vietnam until 2020
策定年	2010年
計画概要	2020年までのスポーツ開発戦略として、国民の健康と生活の質、平均寿命の向上に向けた国の体育及びスポーツシステムの構築についてのガイドライン
主要目標・施策	<ul style="list-style-type: none">• 下記3つの大目標が掲げられている：<ol style="list-style-type: none">1. 国民の身体運動・スポーツ活動の向上2. 保健体育教育の向上と学校におけるスポーツ活動の改善3. 軍隊における訓練・スポーツ活動の向上
主要KPI	<ul style="list-style-type: none">• 身体運動、マッススポーツ、レクリエーションスポーツの拡充により社会ニーズに応え、国民の生涯的な趣味を創出する• 人間的機能と競技力の向上により、健康なライフスタイルを確立する• 軍隊における身体能力の向上により、国家の防衛機能・セキュリティを高める• アスリート育成のための仕組みを確立する• 先端的・持続的なプロスポーツを設立し運営する• 競技力向上によるASEANでの立ち位置の維持とアジア全体・世界とのスポーツ格差の縮小

SDGsへのコミットメント・取組

政府によるSDGsに関する取組

- SDGsの達成度合いを示すランキングでは、**世界55位**。
- 達成度合いが高い項目は「万人への質の高い教育、生涯学習」である。
- 特に課題が残る項目は「健康・福祉」、「海洋と海洋資源の保全・持続可能な利用」、「陸域生態系、森林管理、砂漠化への対処、生物多様性」、「平和で包摂的な社会の促進」である。

SDGs17ゴールの達成状況



- : SDGsを達成している
- : 課題が残る
- : 重要課題が残る
- : 主要課題が残る
- : 情報入手不可
- ↑ : SDGs達成の見込み、または達成している
- ↗ : 穏やかに改善
- : 停滞
- ↓ : 悪化
- : 傾向把握不可

女性の活躍推進に関する取組

政府によるジェンダー平等に関する取組

- Sustainable Development Report 2023によると、「ジェンダー平等」の項目は、課題が残っている状況。
- 「ジェンダー平等」に係る要素のうち、下記の項目は達成している。
 - 労働力率の男女比
- 「ジェンダー平等」に係る要素のうち、下記の項目は達成できていない。
 - 近代的手法によって、家族計画についての自らの要望が満たされている出産可能年齢（15～49歳）にある女性の割合
 - 教育を受けた平均年数の男女比
 - 女性議員の議席数

女性の活躍推進×スポーツの事例

- 女子サッカーの活躍（2023年）
 - ベトナムの女子サッカーは2023年のワールドカップでワールドカップ初出場を果たした。
 - 一方で、ワールドカップへの出場権を獲得し続けるためには、チームの維持、ナショナルチャンピオンシップの強化を行う必要があり、下記のようなさらなる取組が求められている。
 - スポンサー企業を増やすための優遇制度の設立
 - 長期的なスポンサーシップ構築
 - 地方における青少年向けの環境整備



出所) Sustainable Development Report
VIETNAM.VN 「ベトナム女子サッカーが新たな高みへ到達するために」

質の高い教育に関する取組

政府による質の高い教育に関する取組

- Sustainable Development Report 2023によると、「万人への質の高い教育、生涯学習」の項目は、目標が達成されている状況。
- 「万人への質の高い教育、生涯学習」に係るすべての項目を達成している。
 - 初等教育前の組織学習への参加率
 - 初等教育就学率
 - 中等教育修了率の低下
 - 識字率

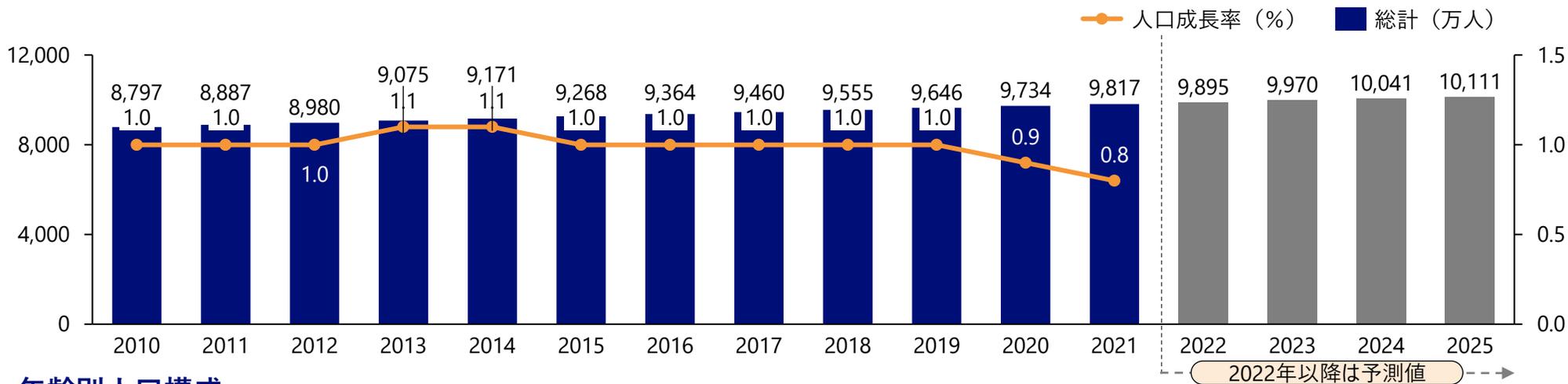
質の高い教育×スポーツの事例

- ミズノによる「ミズノヘキサスロン」の展開（2011年～）
 - ミズノが開発した子ども向け運動遊びプログラム「ミズノヘキサスロン」を、ベトナムの初等義務教育に採用・導入した。
 - ミズノヘキサスロンとは、ミズノ独自に開発した安全性に配慮した用具を使用し、運動発達に必要な36の基本動作を楽しみながら身につけることのできる「運動遊びプログラム」である。
 - 約2年間かけて子供たちの身体機能の変化に関するデータを収集し、エビデンスを示しつつベトナム教育訓練省と交渉を進めたことで、「ベトナム初等義務教育への導入と定着」に関する協力覚書締結に至った。

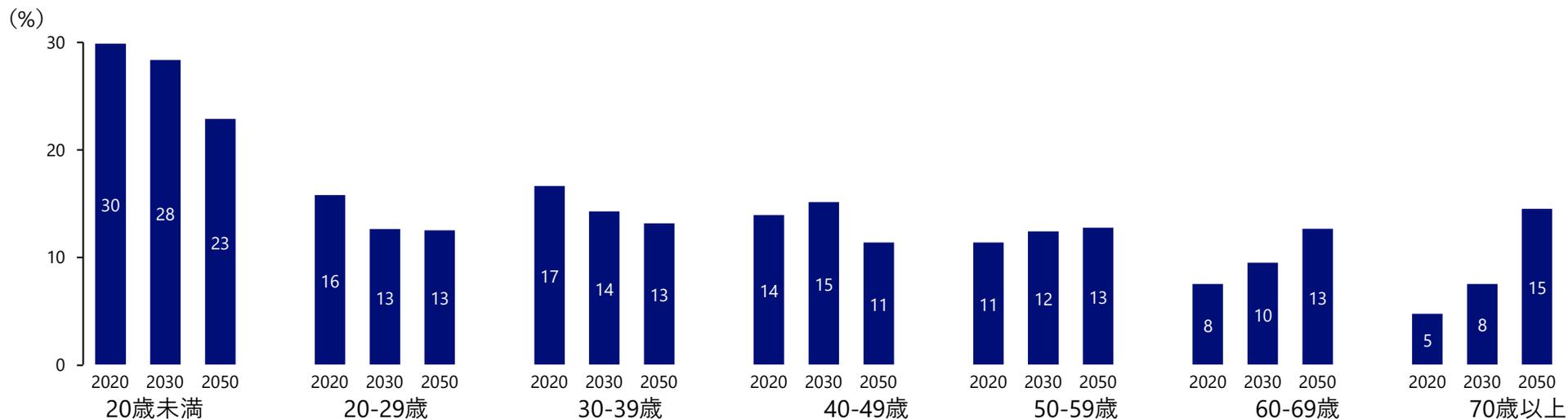


人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成

人口動態、および人口成長率



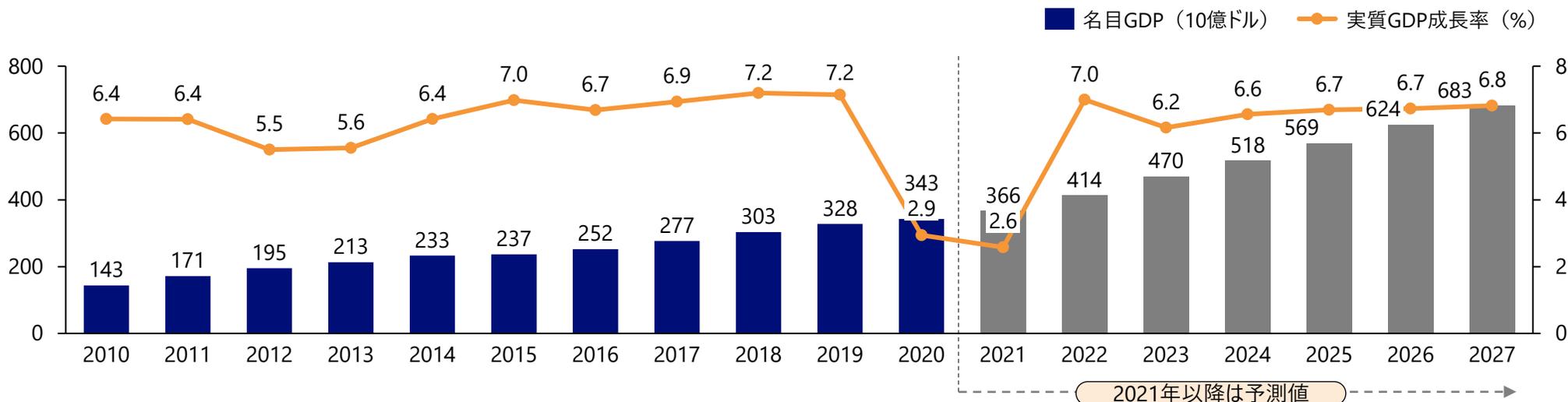
年齢別人口構成



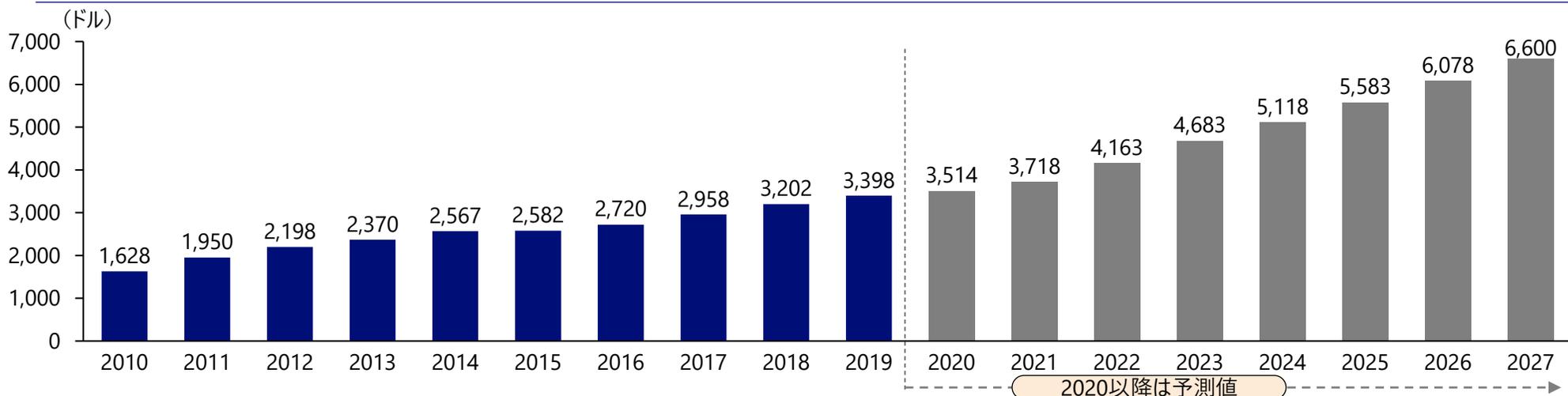
(出所) 世界銀行「World Development Indicators」、国際連合「World Population Prospects」

GDP、GDP成長率、一人当たりGDP

名目GDPおよび実質GDP成長率



一人当たり名目GDP

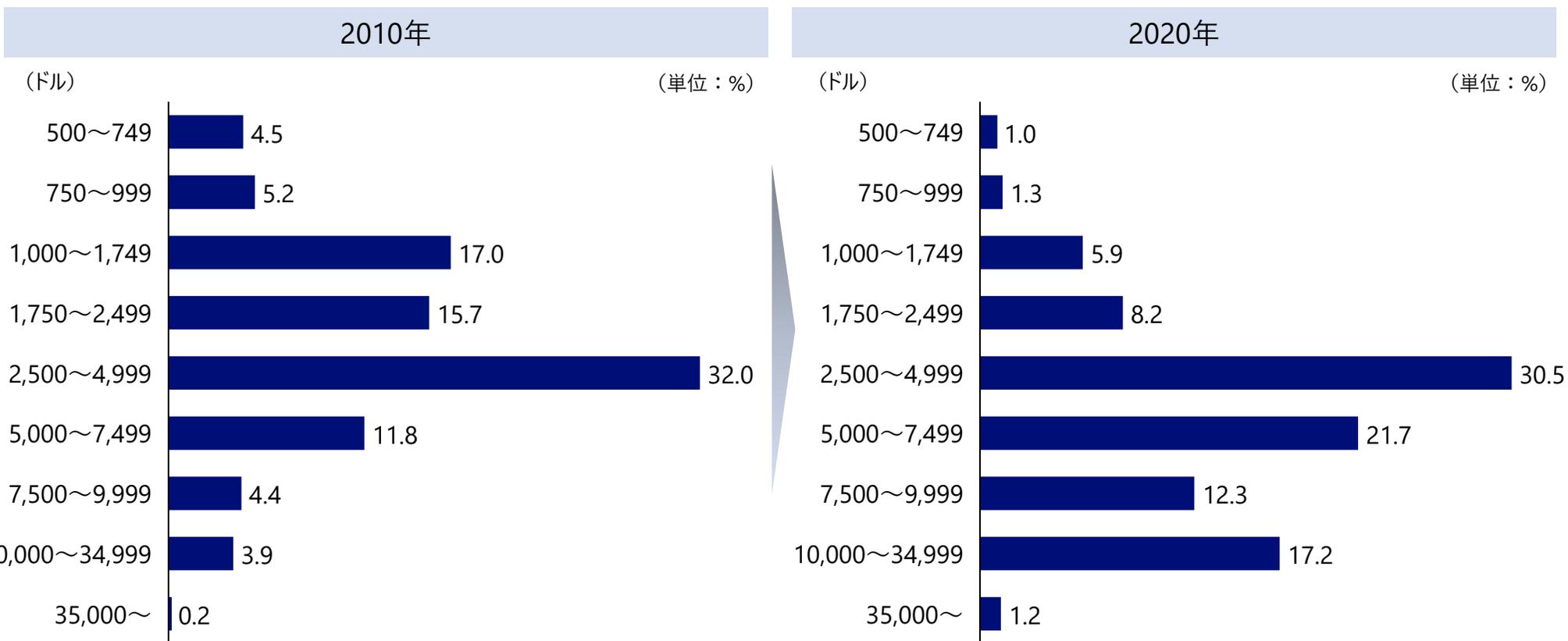


(出所) 国際通貨基金 (IMF) 「World Economic Outlook Database」

世帯所得分布

■ 2010年には20.1%であった中間所得層（世帯所得5,000～34,999ドル）が、2020年には51.2%まで増加。

世帯所得分布



（出所）ユーロモニター

賃金

- ベトナムの製造業に従事する作業員の年間実負担額は、4,132ドル（日本円で約47万円）
- ASEAN地域の中では、カンボジアより高く、フィリピンよりも低い賃金水準。前年比昇給率は高い。

ベトナムの製造業と非製造業における賃金と前年比昇給率

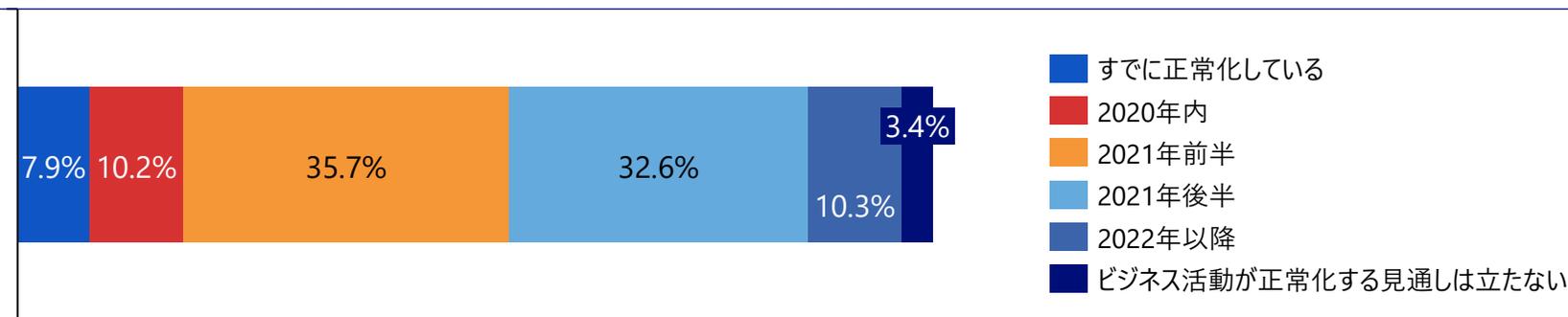
		基本給・月給 (単位：米ドル)	年間実負担額 (単位：米ドル)	前年比昇給率(%) (2019→2020)	前年比昇給率(%) (2020→2021)
製造業	作業員	250	4,132	6.8	5.0
	エンジニア	480	7,791		
	マネージャー	1,013	16,494		
非製造業	スタッフ	611	9,523	6.4	5.4
	マネージャー	1,312	20,257		

- 基本給：諸手当を除いた給与、2020年8月時点。
 - 年間実負担額：一人あたり社員に対する負担総額(基本給、諸手当、社会保障、残業、賞与などの年間合計。退職金は除く。2020年(度)時点。)
 - 作業員：正規雇用の一般工職で実務経験3年程度の場合。ただし請負労働者および試用期間中の作業員は除く。
 - エンジニア：正規雇用の中堅技術者で専門学校もしくは大卒以上、かつ実務経験5年程度の場合。
 - マネージャー（製造業）：正規雇用の営業担当課長クラスで大卒以上、かつ実務経験10年程度の場合。
 - スタッフ：正規雇用の一般職で実務経験3年程度の場合。ただし派遣社員および試用期間中の社員は除く。
 - マネージャー（非製造業）：正規雇用の営業担当課長クラスで大卒以上、かつ実務経験10年程度の場合。
- ※各職種の自国・地域通貨建て賃金の平均値を、2020年8月の平均為替レート(各国・地域中央銀行発表)で米ドルに換算。

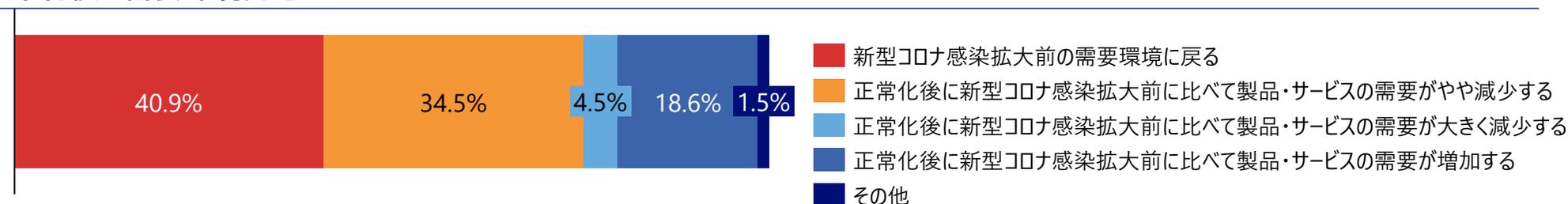
新型コロナウイルス感染拡大の影響（2020年8月時点、現地進出日系企業回答）

- ベトナムに進出する日系企業の35%以上がビジネス活動が正常化するのには2021年前半と回答している。
- 新型コロナウイルス感染が正常化した後の需要の見通しは、「感染拡大前の需要環境に戻る」の回答が40.9%となっている。

新型コロナウイルス感染拡大後ビジネス活動が正常化する時期



正常化後の需要環境見込み

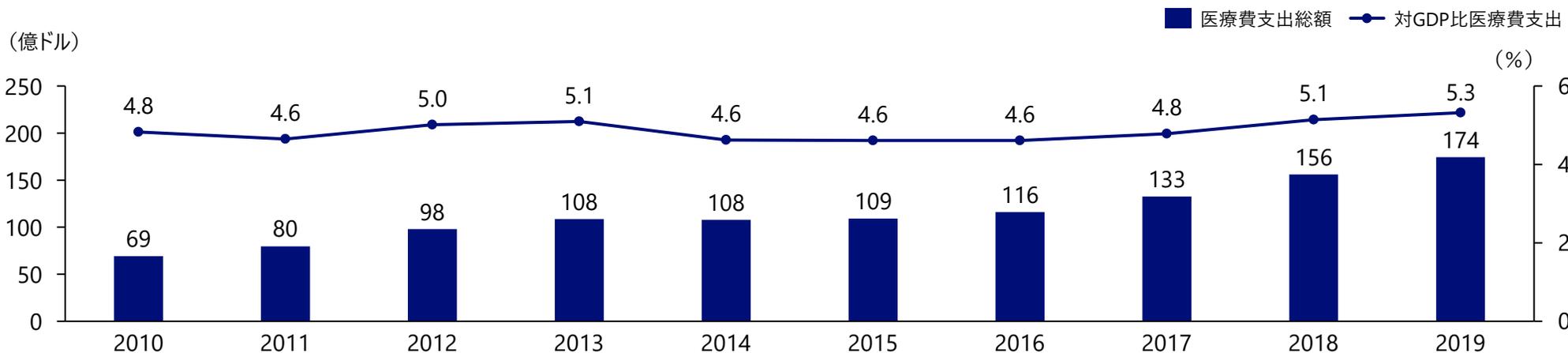


一人当たり医療費

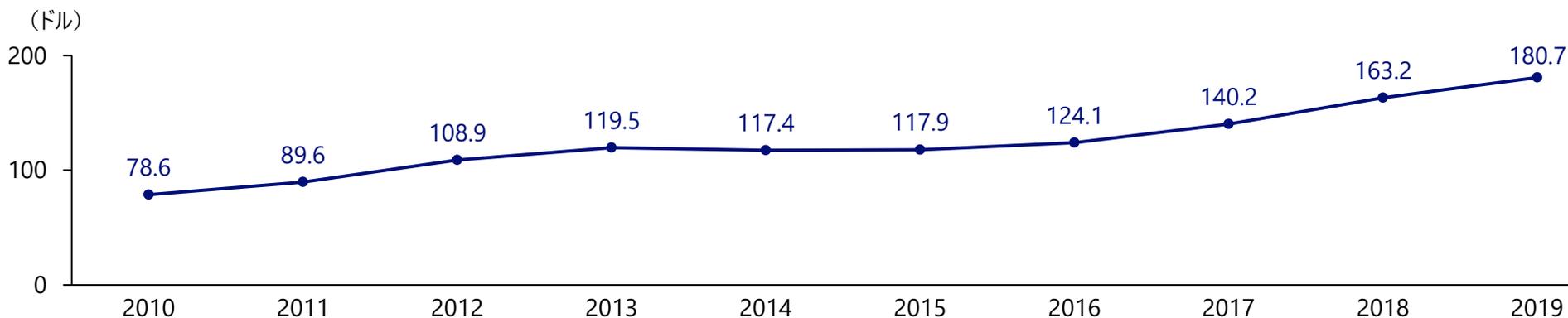
■ 2018年の医療費支出は145億ドル（約1.6兆円）で、対GDP比で4.8%。

■ 2018年の一人当たり医療費は151.7ドル（約1.8万円）であった。

医療費支出総額と対GDP比医療費支出



一人当たり医療費推移



(出所) 世界保健機関 (WHO) 「Global Health Expenditure Database」

疾病構造・死亡要因

■ ベトナムでは、脳卒中による死亡割合が高い。

疾病構造（死亡要因）の内訳（2019年）

順位	疾病名	割合
1	Stroke（脳卒中）	21.54%
2	Ischemic heart disease（虚血性心疾患）	11.82%
3	Diabetes（糖尿病）	4.65%
4	COPD（慢性閉塞性肺疾患）	4.51%
5	Lung cancer（肺がん）	3.98%
6	Road Injuries（交通外傷）	3.81%
7	Cirrhosis（肝硬変）	3.73%
8	Chronic kidney disease（慢性腎臓病）	3.40%
9	Lower respiratory infect （下呼吸器感染症）	3.38%
10	Alzheimer's disease（アルツハイマー病）	3.08%

順位	疾病名	割合
11	Tuberculosis（結核）	2.96%
12	Hypertensive heart disease （高血圧性心疾患）	2.59%
13	Colorectal cancer（結腸直腸がん）	2.46%
14	Falls（転倒）	1.97%
15	Breast cancer（乳がん）	1.89%
16	Stomach cancer（胃がん）	1.43%
17	Self-harm（自傷）	1.28%
18	Asthma（喘息）	1.08%
19	Neonatal disorders（新生児障害）	1.03%
20	HIV/AIDS（HIV/AIDS）	1.02%

運動習慣が発症・進行に関与するとされる疾患群（出所：厚生労働省「健康寿命を延ばそう SMART LIFE PROJECT」）

外資に関する規制

カテゴリ	概要
規制業種・ 禁止業種	<ul style="list-style-type: none"> • 2021年1月1日より施行された投資法61/2020/QH14は、投資禁止および経営禁止分野と条件付き経営投資分野について明記している。 • 条件付経営投資分野は、当該分野の経営投資活動を実施するにあたり、国防、国家の治安、社会の秩序、安全、社会道徳、市民の健康の保持を理由とする条件を満たさなければならない。スポーツ関連では、下記の事業が該当する： <ul style="list-style-type: none"> ➢ 197. スポーツ企業、専門スポーツクラブのスポーツ活動事業 • また、投資法61/2020/QH14の一部条項のガイダンスである政令31/2021/ND-CPの付属文書1では、法律・国会決議・政府政令によって規定された、外国投資家の参入が禁止される事業分野、および条件付きで参入が認められる事業分野のリストが公表されている。スポーツ関連では、下記の事業が該当する： <ul style="list-style-type: none"> ➢ 26. スポーツ、娯楽サービス ➢ 48. スポーツ、美術、舞台芸術、ファッションショー、美人・モデルコンテスト及びその他レクリエーション活動に関連するサービス ➢ 53. 芸術家、スポーツ選手の採用、予約、管理の代理サービス
出資比率	<ul style="list-style-type: none"> • 「外資系企業に対する出資比率の制限」が定められており事業によってその比率は異なる。 • スポーツに関連する対象事業は、下記： <ul style="list-style-type: none"> ➢ 娯楽サービス：ベトナムにおいて本サービスの提供が可能なベトナム企業との合弁会社の設立または事業協力契約の締結のみ可能である。外国企業の出資比率が合弁会社の資本金の49%を超えてはならない。
外国企業の 土地所有の可否	<ul style="list-style-type: none"> • 外資系企業、あるいは事業協力契約の外国当事者は、投資案件の実施に際して、土地を所有することは認められず、ベトナム政府から土地使用権を取得する形になる。
資本金に関する 規制	<ul style="list-style-type: none"> • 一部の条件付経営投資分野に関しては、法定資本金が定められている（銀行業、保険業、海外向け労働者派遣、不動産事業、監査事業、証券仲介サービス事業、航空サービス、映画制作など）。